

1. 対象職員…教諭及び臨時講師19名

2. 調査方法…Google フォームによる無記名アンケート

3. 評価項目全体の分析

R7の集計結果全体を見ると、肯定的な回答（「A：そう思う」「B：ある程度そう思う」）の割合が多く、多くの項目で80%～90%を超えており、学校運営に対する教職員の評価は総じて非常に高い水準にあります。

4. 評価項目毎の評価

○学校経営

1において、「学校全体で取り組んでいる」という意識はR5より徐々に低下しており、目標が当たり前になりすぎて意識化されにくくなっている可能性があるものの、2では「成果が上がっている」（A：そう思う）と感じる割合は昨年度より改善しており、実質的な教育効果を感じている職員は増えている。

○教科指導

11・12において、昨年度よりかなり肯定的であるが、「A：そう思う」が0%ということから、授業参観や研究授業を取り入れながら、学校全体で授業の質を上げていきたい。

14において、多様な生徒がいる中で、授業の内容はもとより、授業に臨む姿勢においても丁寧な指導を継続的に行う。

○生徒指導

16において、一部の教員だけでなく、全職員が共通認識を持って指導に当たっていると職員自身を感じている点は、職員間での情報共有や指導方針の統一が進んでいることを示している。しかし、整容面やスマートフォンの指導など特定の課題や特定の生徒に対する指導には課題が残り改善が必要である。

○教育相談

20において、様々な事例に対して、組織的な役割分担や相談体制の整理が行われ、職員が適切に対応していると考えますが、さらにスクールカウンセラー（SC）や関係機関との連携及び事例等を共有していく必要がある。

○進路指導

23・24において、進路情報の共有方法や年次ごとの進路計画が、R7年度においてより明確に分掌等で可視化された結果だと考えられる。しかし、21・24では、「C：あまりそう思わない」が1割を占め、個別ニーズの多様化に難しさや年次をまたぐ指導の継続性など様々な課題に対し、学校全体で組織的に指導していく必要がある。

○特別活動

生徒会活動（星河祭など）は、学校の大きな強みとして、さらなる生徒の自主性向上に向けた取り組みを行っていきたい。部活動においては、以前のような強い教育的効果を実感しにくい状況にある

かもしれないが、活動状況や、そこでの生徒の成長を学校全体で共有し、自己肯定感の向上に努める。

○年次経営・学級経営

28・29において、経営方針の共有と連絡が概ねきちんに行われていることから、明確な年次・学級経営が行われている。日常的なコミュニケーションがスムーズに行われていることにより、組織的な対応の土台ができるとともに、「生徒指導」や「教育相談」などに活かしていきたい。

30において、多様な生徒への対応として、面接週間などの設定が必要である。

○研修

グループワークや発表を交えた研修など、参画型のスタイルが活発な議論を生み出し、評価の高い研修になっていることから継続していきたい。また、意見・提言に「校内研修が多すぎる」「内容が重複している」との指摘があることから、研修の精選を考えるとともに、研修後の成果が活かされる工夫が必要である。

○その他

2期生のため、前後期の初めと終わりに行事が集中しているように感じる。「働き方改革」の観点から、また、教育的効果の検証を含め、行事の精選（移動、廃止含む）を考える。

令和7年度 横手高等学校定時制課程 学校評価アンケート (教職員)

回答欄 (A : そう思う B : ある程度そう思う C : あまりそう思わない D : 思わない E : わからない)

評価項目	番号	質問内容	年度	回答(%)					
				A	B	C	D	E	
学校経営	重点目標	1 「一人ひとりの成長の支援と社会性の育成」という重点指導目標の実現に向けて、学校全体で取り組んでいると思いますか。	R5	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
			R6	31.3	56.3	6.3	6.3	0.0	
			R7	47.4	36.8	10.5	5.3	0.0	
		2	重点指導目標の実現に向けた取り組みは成果が上がっていると思いますか。	R5	16.7	77.8	5.6	0.0	0.0
				R6	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0
				R7	15.8	73.7	5.3	0.0	5.2
	教育課程	3	学校の教育課程は、生徒の進路を考えた効果的なものになっていると思いますか。	R5	22.2	61.1	16.7	0.0	6.3
				R6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
				R7	5.3	89.5	0.0	0.0	5.2
	教育内容	4	学校の教育内容は、生徒、保護者の期待に応えるものになっていると思いますか。	R5	11.1	77.8	0.0	0.0	11.1
				R6	6.3	93.8	0.0	0.0	0.0
				R7	10.5	89.5	0.0	0.0	0.0
	情報発信	5	学校は学校行事等の校内の活動を、地域に公開しようとしていると思いますか。	R5	38.9	61.1	0.0	0.0	0.0
				R6	18.8	68.8	12.5	0.0	0.0
				R7	31.6	63.2	0.0	0.0	5.3
		6	学校からの通信や連絡は、確実に保護者に届いていると思いますか。	R5	0.0	83.3	11.1	0.0	5.6
				R6	0.0	56.3	31.3	6.3	0.0
				R7	0.0	73.7	10.5	5.3	10.5
	安全管理	7	学校は生徒の安全や健康を考えて、必要な対策をとっていると思いますか。	R5	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
				R6	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
				R7	42.1	57.9	0.0	0.0	0.0
		8	学校は生徒・保護者の個人情報に関して適切な配慮をしていると思いますか。	R5	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
				R6	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
				R7	26.3	73.7	0.0	0.0	0.0
教職員	9	本校の教職員は、生徒の教育に熱心に取り組んでいると思いますか。	R5	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0	
			R6	18.8	62.5	18.8	0.0	0.0	
			R7	21.1	68.4	5.3	5.2	0.0	
	10	電話や校内での保護者との対応の際、教職員の態度や対応は適切だと思いますか。	R5	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0	
			R6	18.8	75.0	6.3	0.0	0.0	
			R7	21.1	78.9	0.0	0.0	0.0	
【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> 従来からの転換が行われ、その変化に少しずつ対応している最中であるが、全ての職員が肯定的に受け止め、実践を行っていると考えている。 教頭先生も何度かおっしゃっていたと思いますが、個々の教職員によって業務量の差がかなり大きいと感じます。非常に難しい問題だとは思いますが、可能であれば分掌配置の段階で想定される業務量を調整したり、管理職が必要に応じて声かけしたりするなど、さらなる改善に向けた取組を望みます。 								
教科指導	授業	11	授業を通しての学力向上は達成されていると思いますか。	R5	0.0	83.3	5.6	0.0	11.1
				R6	0.0	62.5	31.3	0.0	6.3
				R7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		12	授業において生徒の興味や意欲を引き出す工夫がなされていると思いますか。	R5	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0
				R6	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
				R7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	13	生徒は授業に関して満足していると思いますか。	R5	5.6	83.3	5.6	0.0	5.6	
			R6	0.0	62.5	25.0	0.0	12.5	
			R7	0.0	83.3	11.1	0.0	5.6	
	14	授業を通したキャリア教育（チャイムと同時の授業、教科書の準備、指名されたら返事・起立、学習環境等）は達成されていると思いますか。	R5	0.0	77.8	11.2	0.0	11.1	
			R6	0.0	68.8	25.0	0.0	6.3	
			R7	5.3	73.7	15.8	0.0	5.2	
	15	授業の活性化（多くの生徒への声かけ、活躍できる場の設定、個別指導と全体指導の調和等）は達成されていると思いますか。	R5	11.1	77.8	5.6	0.0	5.6	
			R6	6.3	75.0	18.8	0.0	0.0	
			R7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> 反応が少ないときの対処がうまくいっているかわからない。 調査では高得点の生徒が少なくありませんが、基礎学力の程度および学力の定着については個人差があるため、生徒の関心を高めつつ、学力の定着に繋がる授業を心がけたいです。 教育機材を活用した授業実践に励まれている先生方が大勢いるが、生徒の書く、読む、計算する等の技量が下がっていることを感じ、自分の授業の形式について悩んでいる。 								

回答欄（ A：そう思う B：ある程度そう思う C：あまりそう思わない D：思わない E：わからない）

評価項目	番号	質問内容	年度	回答(%)					
				A	B	C	D	E	
生徒指導	生徒指導	16 生徒指導を全職員で、共通認識のもとに取り組んでいると思いますか。	R5	11.1	50.0	38.9	0.0	0.0	
			R6	6.3	50.0	37.5	6.3	0.0	
			R7	5.3	78.9	10.5	5.3	0.0	
		17 校内外の集団の決まりを守る指導の成果はあがっていると思いますか。	R5	0.0	55.6	44.4	0.0	0.0	
			R6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
			R7	0.0	78.9	15.8	0.0	5.3	
		18 生徒指導上の事故防止のための指導は適切、効果的に行われていると思いますか。	R5	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
			R6	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0	
			R7	5.3	89.5	0.0	0.0	5.2	
		19 「いじめ」に対する適切な調査や指導、対策がとられていると思いますか。	R5	38.9	50.0	11.1	0.0	0.0	
			R6	12.5	68.8	12.5	0.0	6.3	
			R7	21.1	73.7	5.3	0.0	0.0	
	【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホの取り扱いについて、今年度も進展がなく残念に思う。 ・ スピード感がもう少しあればよいと思う。 ・ 学校としての規定はあるが、生徒によっては規定の遵守に否定的で改善に応じてもらえていない。気持ちの面で受けやすい生徒が大多数を占め、個別の対応に苦慮している。生徒の状況を鑑みて対応してもらっている感じがあり、感謝している。 ・ 頭髪や携帯電話への指導がなくなっている。 							
	教育相談	教育相談	20 教職員は生徒の悩みや相談に適切に対応していると思いますか。	R5	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
				R6	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0
				R7	21.1	73.7	5.2	0.0	0.0
【意見・提言】		<ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧すぎるくらいの対応であると考えているが、当該生徒からすれば安心が得られる効果的な手法であると考えている。 							
進路指導	進路指導	21 個々の生徒の進路希望や適性にじた指導が行われていると思いますか。	R5	27.8	66.7	0.0	0.0	5.6	
			R6	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	
			R7	26.3	57.9	10.5	0.0	5.3	
		22 進路意識や職業観を育てるための指導が適切に行われていると思いますか。	R5	27.8	66.7	5.6	0.0	0.0	
			R6	12.5	81.3	0.0	0.0	6.3	
			R7	21.1	78.9	0.0	0.0	0.0	
		23 学校は進路についての情報を生徒、保護者に適切に伝えていると思いますか。	R5	27.8	61.1	5.6	0.0	5.6	
			R6	6.3	87.5	6.3	0.0	0.0	
			R7	21.1	73.7	5.2	0.0	0.0	
		24 3～4年間を見通した計画的な進路指導が行われていると思いますか。	R5	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	
			R6	12.5	56.3	31.3	0.0	0.0	
			R7	21.1	63.2	10.5	5.2	0.0	
	【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年に応じて、社会人として必要なスキルや人間性について段階的に指導している点や外部機関と適切に連携している点がよいと思います。 ・ 模擬試験に関して多方面において必要性があるという理由で実施されているが、状況に応じて実施の可否の柔軟な判断ができる環境が整うことを願っている。また、学年次に応じた系統的な進路学習計画の本格的な実践を望んでいる。 							
	特別活動	生徒会活動	25 星河祭などの生徒の活動は充実したものになっていると思いますか。	R5	61.1	38.9	0.0	0.0	0.0
				R6	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
				R7	42.1	57.9	0.0	0.0	0.0
部活動		26 部活動を通じた人間育成が図られていると思いますか。	R5	11.1	77.8	5.6	0.0	5.6	
			R6	6.3	56.3	31.3	0.0	6.3	
			R7	0.0	84.2	5.3	0.0	10.5	
27 部活動の指導の成果は上がっていると思いますか。		R5	16.7	66.7	11.1	0.0	5.6		
		R6	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0		
		R7	5.3	78.9	0.0	0.0	15.8		
			5.3	78.9	0.0	0.0	15.8		
【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動に入部していない生徒が多く、入部していても活動に参加しない生徒がいるのでなかなか指導しきれないと思う。 ・ 星河祭は、学校行事のなかでも特に生徒の表情が生き生きしているようにみえます。模擬店など、生徒の得意分野を活かした企画を継続すべきだと考えます。部活動を通して物事に対して努力する力や集団行動を通じたコミュニケーションスキルを高めるきっかけになっていると思います。 ・ 従来の反省を踏まえた実践が確立されてきている印象が強い。しかしながら旧来の実践にこだわる層も一定数あり、釣り合いをとる重要性の高まりを感じる。 								

回答欄（ A：そう思う B：ある程度そう思う C：あまりそう思わない D：思わない E：わからない）

評価項目	番号	質問内容	年度	回答(%)					
				A	B	C	D	E	
年次経営 学級経営	28	年次やクラスの指導は生徒、保護者の期待に据えていると思えますか。	R5	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	
			R6	6.3	87.5	0.0	0.0	6.3	
			R7	5.3	89.5	0.0	0.0	5.2	
	29	年次やクラスについての情報は生徒、保護者に適切に伝えられていると思えますか。	R5	11.1	83.3	0.0	0.0	5.6	
			R6	6.3	81.3	12.5	0.0	0.0	
			R7	0.0	84.2	5.3	0.0	10.5	
	30	保護者面談は適切に行われていると思えますか。	R5	22.2	61.1	16.7	0.0	0.0	
			R6	6.3	87.5	0.0	0.0	6.3	
			R7	15.8	73.7	0.0	0.0	10.5	
	31	生徒は学校が楽しいと感じ、生き生きと学校生活を送っていると思えますか。	R5	5.6	88.9	0.0	0.0	5.6	
			R6	6.3	87.5	6.3	0.0	0.0	
			R7	0.0	89.5	5.3	0.0	5.2	
	【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> 面談をしていても反応ができない生徒が多く、楽しいかわからない。困ることは起きていないようである。 多様な生徒、多様な価値観の尊重を意識することによるクラス担任の負担が大きくなることを感じている。気持ちのバランスをとることが重要であることをより実感する。 様々な背景の生徒がいるため、無難に学校生活をやり過ぎそうとしている生徒が多いように思う。クラス替えによる人間関係再編の機会があっても良いと思う。 年次部に入っていますが保護者と直接接する機会が乏しいので29、30については評価を保留とさせていただきます。 							
	研 修	32	教職員の研修は、適切に行われていると思えますか。	R5	33.3	61.1	0.0	0.0	5.6
				R6	31.3	62.5	6.3	0.0	0.0
				R7	42.1	52.6	0.0	5.3	0.0
33		研修の成果が自らの向上と教育実践に生かされていると思えますか。	R5	16.7	66.7	11.1	0.0	5.6	
			R6	6.3	81.3	12.5	0.0	0.0	
			R7	15.8	63.1	5.3	5.3	10.5	
【意見・提言】		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にグループワークや発表を交えた研修が開かれることが教員の意識向上に繋がっていると考えています。 校内における研修に新鮮味が欠けてきている印象がある。個人的にユニバーサルデザインされた授業は生徒にとって楽しい授業になるのか疑問を持っている。 年次研修や職種・職務別研修、県から参加を求められる研修など校外での研修も多様にある中で、校内研修が多すぎますし、内容も重複していると感じます。相互授業参観や研究授業も、少ない職員の中で何とかやりくりして行くほどの必要性には疑問です。今はオンラインでの研修も充実してきていますのでそういったものを活用することで、各自が選択できるようにして全体の研修は機会や内容を絞ったり、講義形式ではなくケース会議などより本校の実態に合わせた形で実施したりするなど、例年どおりのやり方に捉われない対応に期待します。 							
自由記述	【意見・提言】	<ul style="list-style-type: none"> 人によって、仕事量の偏りが著しいと感じます。 選択科目群内の科目の設置、評価方法に新年度に向けた準備が必要と感じる。 修得単位が少ない生徒を進級させるのかどうかを、年次部と教務部とが協議する必要がある。 分掌主任、年次主任、担任、副担任の役割分担に大きな差を感じる。 3修業と4修業を分けたクラス編成は進路活動が円滑だと感じた。 今年度に入って職員会議資料のペーパーレス化やGoogle workspaceを活用した文書のやりとりで作業の効率化が進んだと思う。分掌内での仕事の分担については、ある程度手分けして進めることができたが、新たに導入される入試web出願や校務支援システムの運用にあたっては校内研修等を活用して各種設定等を担当できる人材を増やしていく必要を感じている。 新しい学習指導要領による授業の実践、評価に切り替わってからある程度時間が経過しているが、自分自身新しい基準による評価が適切にできているのか疑問を感じる。教育における評価の軸と現実の評価の軸が一致していないような印象が強まった気がします。 国語科の仕事が偏って多いと思えます。漢字検定や百人一首は国語科が担当するべきとは思いますが。しかし、生活体験作文の行事や文集、会報等は教科に関係なく担当することは難しいのでしょうか。 教育課程について。「1単位でも取れば進級できる」と「必修が取れていないから原級留置」と両論並立が現状だと思います。どちらもわかりますが、両方同時に成り立つのは難しいと思えます。困っています。 小規模校の影響か、分掌で一部の先生への負担が大きくなるように思う。任せきりにせず丸となって遂行していくべきだと思う。 							

保護者アンケートの分析

- ・令和6年度回収率が142人中47名**33.1%**だったが、令和7年度は129人中37名**28.7%**だった。昨年度の分析にも回収率が低かったということがあったが、さらに低下してしまった。次年度は実施方法の見直しや、スグールで何度か回答を呼びかける等、回収率を上げる手立てを検討したい。
 - ・昨年度と比べて大きく増減した点や気になる点に関して
今年度は回答数が少なく、比較的協力的なご家庭が回答したものとも考えられるため、昨年度から否定的な方向へ大きく動いた項目はあまりみられなかった。
- ①問5の「星河祭など文化系行事についてどう思いますか。」というものに対して6年度は「今のままで良い」が76.6%であるのに対して、7年度は94.6%で大きく増加している。今年度の星河祭は来客数が増加したということなので「わからない」の回答が減ったことが要因であると考えられる。足を運んでいただいたご家庭はいずれも肯定的に感じてくれたと推測できる。
- ②問10の「学校は子どものことを理解していると思いますか。」という問いに対して6年度は「そう思う、だいたいそう思う」で72.3%を占めるのに対して、7年度は97.3%で25.0%増加している。回答したご家庭にはこの点における学校に対する不満はほぼないようにみられる。ただ、次の問11の「学校はいじめや不登校について効果的に指導していると思いますか。」の問いに対して「そう思う、だいたいそう思う」の回答が62.1%であり、前年度比6.8%増（R6は55.3%）に留まっている。まだ課題があると感じているご家庭もあるのではないか。
- ③問15の「本校のホームページによる情報の提供をご覧になってますか。」という問いに対して「よく見ている、時々見ている」が67.6%で前年比4.7%の減少となっている。自由記述の欄では、写真等で学校の様子をもっと確認したいというご家庭が複数あったのに対して、頻繁にホームページを確認しているご家庭はそこまで多くないようだ。ご家庭によってホームページに対する意識は大きく異なっているように感じた。

令和7年度 横手高等学校定時制課程保護者アンケート集計結果

令和7年12月17日 配布

回収率 28.7 % (生徒在籍数 129名 / アンケート回収数 37名)

令和8年1月13日 集計

I 学校の教育活動

問1 学校の教育活動について、分かりやすく伝えていると思いますか。

	(人)	(%)
1 そう思う	10	27.0%
2 だいたいそう思う	19	51.4%
3 あまり思わない	5	13.5%
4 全く思わない	0	0.0%
5 わからない	3	8.1%
無回答	0	0.0%

問2 子どもの学校生活の様子を伝えていると思いますか。

	(人)	(%)
1 そう思う	10	27.0%
2 だいたいそう思う	17	45.9%
3 あまり思わない	8	21.6%
4 全く思わない	1	2.7%
5 わからない	1	2.7%
無回答	0	0.0%

問3 学校は保護者の要望を取り入れていると思いますか。

	(人)	(%)
1 そう思う	10	27.0%
2 だいたいそう思う	18	48.6%
3 あまり思わない	4	10.8%
4 全く思わない	0	0.0%
5 わからない	5	13.5%
無回答	0	0.0%

問4 運動会など体育系行事についてどう思いますか。

	(人)	(%)
1 このままで良い	27	73.0%
2 見直して欲しい	1	2.7%
3 わからない	9	24.3%
無回答	0	0.0%

問5 星河祭など文化系行事についてどう思いますか。

	(人)	(%)
1 このままで良い	35	94.6%
2 見直して欲しい	0	0.0%
3 わからない	2	5.4%
無回答	0	0.0%

問6 生徒会活動やホームルーム活動についてどう思いますか。

	(人)	(%)
1 このままで良い	25	67.6%
2 見直して欲しい	0	0.0%
3 わからない	12	32.4%
無回答	0	0.0%

問7 部活動・同好会活動についてどう思いますか。

	(人)	(%)
1 このままで良い	27	73.0%
2 見直して欲しい	2	5.4%
3 わからない	8	21.6%
無回答	0	0.0%

問8 ボランティア活動についてどう思いますか。

	(人)	(%)
1 このままで良い	29	78.4%
2 見直して欲しい	1	2.7%
3 わからない	7	18.9%
無回答	0	0.0%

問9 子どもは授業に対してどんな感想や意見を話していますか。

	(人)	(%)
1 どの教科もよくわかる	8	21.6%
2 わかる教科の方が多い	17	45.9%
3 わかる教科は少ない	3	8.1%
4 さっぱり理解できず苦痛	0	0.0%
5 感想を聞いた事がない	7	18.9%
6 その他	2	5.4%
無回答	0	0.0%

● 6 その他 の内容

進みが遅いと思う

全てに関して聞いた事はありませんが内容や教科により差はあるようです。

問10 学校は子どものことを理解していると思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	15	40.5%
2 だいたいそう思う	21	56.8%
3 あまり思わない	0	0.0%
4 全く思わない	0	0.0%
5 わからない	1	2.7%
無回答	0	0.0%

問11 学校はいじめや不登校について効果的に指導していると思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	8	21.6%
2 だいたいそう思う	15	40.5%
3 あまり思わない	1	2.7%
4 全く思わない	0	0.0%
5 わからない	13	35.1%
無回答	0	0.0%

問12 整容やマナーについて学校の指導は厳しいと思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	7	18.9%
2 だいたいそう思う	21	56.8%
3 あまり思わない	4	10.8%
4 全く思わない	1	2.7%
5 わからない	4	10.8%
無回答	0	0.0%

問13 学校からの進路情報の提供は役立っていると思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	9	24.3%
2 だいたいそう思う	18	48.6%
3 あまり思わない	3	8.1%
4 全く思わない	1	2.7%
5 わからない	6	16.2%
無回答	0	0.0%

問14 学校は子どもの進路達成に効果的な指導を行っていると思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	13	35.1%
2 だいたいそう思う	12	32.4%
3 あまり思わない	3	8.1%
4 全く思わない	0	0.0%
5 わからない	9	24.3%
無回答	0	0.0%

問15 本校のホームページによる情報の提供をご覧になりますか。	(人)	(%)
1 よく見ている	4	10.8%
2 時々見ている	21	56.8%
3 見たことがない	12	32.4%
無回答	0	0.0%

II 家庭教育について

問1 PTA活動に参加していますか。	(人)	(%)
1 毎回参加している	3	8.1%
2 時々参加している	13	35.1%
3 ほとんど参加したことがない	21	56.8%
無回答	0	0.0%

問2 子どもと学校について話をしますか。	(人)	(%)
1 毎日する	17	45.9%
2 時々する	17	45.9%
3 ほとんどしない	3	8.1%
無回答	0	0.0%

問3 家庭での子どものしつけについてどう思いますか。	(人)	(%)
1 厳しい	2	5.4%
2 どちらかと言えば厳しい	8	21.6%
3 どちらかと言えば甘い	18	48.6%
4 かなり甘い	3	8.1%
5 わからない	6	16.2%
無回答	0	0.0%

問4 家庭の学校への協力は十分であると思いますか。	(人)	(%)
1 そう思う	5	13.5%
2 だいたいそう思う	17	45.9%
3 あまり思わない	5	13.5%
4 全く思わない	1	2.7%
5 わからない	9	24.3%
無回答	0	0.0%

Ⅲ 学校でもっと力を入れて欲しいことなど(自由記述)

<p>●付き合わなければ友達の関係が壊れてしまう等、繊細な気持ちを持っている子どもが多いと思われます。登校してもらうために学校生活が大分自由に感じられますがもう少し厳しく育ててくださればと思います。</p>
<p>(学校から)</p> <p>ご意見をふまえて、全校集会や通信等で全体に話していきたいと思います。自分に指導されるだけでなく、他人への厳しい指導を見るだけでも登校できなくなるといわれている生徒が多くいるので、気にしています。</p>
<p>●進学先などについて子供と進路相談もつと話をしてほしい。</p> <p>●家では就活の事を全く話さなくなっています。学校では就活に対してどう対応して頂いてるのか知りたいです。</p> <p>●進路については情報量が少ない。自分で探してきて決めるのかと思うくらい、もっと寄り添って欲しい。</p>
<p>(学校から)</p> <p>本校では年次ごとに、進路ガイダンスや講演会、見学会など実施しています。また、進路だよりを定期的に発行し、進路状況や諸活動についてグループウェアで配信しています。</p> <p>進路希望調査を定期的に集約し、担任との進路面談も実施していますので、進路活動や希望先の情報等については担任や年次部、進路指導部に問い合わせをお願いします。</p>
<p>●お便りが少ない。</p> <p>●学校行事などの様子を写真や通信でのお知らせなどあってほしいです。</p> <p>●可能でしたら学校活動の様子を写真(画像)にてもう少し把握したいです。</p>
<p>(学校から)</p> <p>本校では定期的に学校行事の様子を盛り込んだ青雲館新聞を発行しており学校HPで公開しております。是非ご覧ください。今後は、主な行事が終わりましたら、HPでその様子がわかるように掲載するようにします。</p>
<p>●体育系行事はなるべく涼しい時期に開催してもらえると良いなと思います。</p>
<p>(学校から)</p> <p>貴重な御意見ありがとうございます。暑い中での実施に御心配いただいたの御意見だと思います。私共も涼しい中で楽しんでもらいたいと思っておりますが、ここ数年7月頃から9月頃まで猛暑が続く状況です。他の行事との兼ね合いをみながら検討させていただきたいと思っております。学校としても飲料水を準備するなどして熱中症対策をしながら実施しておりますが、来年度も少しでも生徒達が元気に楽しめるようできるだけ環境を整えて実施したいと思っております。よろしくご意見申し上げます。</p>
<p>●10月入学で、在籍3カ月。現在のところ特に意見はありません。何とか通学できているので、学校が気に入っているのだと思います。よろしくご意見申し上げます。</p> <p>●先生方には大変お世話になりありがとうございます。親がわからないことだらけなので引き続き面倒を見てくださると共に当然のことのようなこともわからないこと多々ありますので色々教えていただけますと幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>●三年間あっという間でした。星河祭やかまくら行事の活動など貴重な体験が多かったと思います。残りわずかとなりましたが、引き続き卒業式まで見守っていただけましたら幸いです。</p>
<p>(学校から)</p> <p>今後も御家庭と地域の方々と連携しながら教育活動を行って参りたいと考えております。御理解と御協力を何卒よろしくお願い致します。</p>

令和7年度学校評価に関する学校関係者評価と意見

【総務部】

・古関秀行 様 : A

P T A役員や地域との連携を進め、各種行事を生徒の成長によく繋げていると思いました。避難所開設訓練やかまくら行事への参加も、いざという時に地域貢献できる力や伝統文化を担う力を育むものであり素晴らしいと思います。今後も生徒の「自分で考える力」を更に伸ばしていただければありがたいと思います。

・畑忠 様

学校祭ではクラス単位に趣向を凝らして新聞編集し、掲示して来場者(一般・保護者)に積極的に声かけしていた。当校の多くの教職員OBも参加されて盛会でした。

・小松谷昇 様 : A

コロナ禍後の活動ということでまだ感染対策等の対策をとりながらの行事の実施は大変だと思いますが、地域との関わり方も概ね良好に活動できていると思います。

・柴田竹美 様 : B

星河祭につきましては、今年度もP T Aとしてビンゴ大会などに協力し、関わりを持てたことを嬉しく思います。今後、学校行事がなお一層盛り上がることを期待しております。

【教務部】

・古関秀行 様 : A

「校務支援システムでの成績処理のための準備・設定は、業務量の偏りを小さくするためにも皆で研修しながら協力して行えないのでしょうか。修得単位の少ない生徒の進級についての意見がありましたが、単位制に原級留置の概念はありませんので、如何に卒業に向けて支援するかという観点での検討が大事だと思います。

・畑忠 様

成績評価で本校独自のマニュアルが運用上、課題が残されているようです。改善が必要ではないでしょうか。

・小松谷昇 様 : B

システムの操作や処理に関しては周知をして統一した運用をしていけるように協議していただきたい。

・柴田竹美 様 : B

教務業務の詳細までは把握しきれませんが、DXやAI等の活用により、先生方の業務負担が少しでも軽減されることを願っております。

【生徒指導部】

・古関秀行 様 : A

儀式等での場をわきまえた服装や姿勢を正しての参加態度にいつも感心します。いじめやSNS等での誹謗中傷もないとのこと、先生方の愛情深い指導のおかげだと思います。これからも青雲館を自分の居場所と思って安心して生活できるように、一方的指導を避け、粘り強く関わり理解を大切にする指導をお願いします。

・畑忠 様

ことば使い、整容、スマホ使用について根気よくご指導をお願いします。

・小松谷昇 様 : B

SNSについては普段の雑談のつもりでやり取りしていても履歴が残っているということを認識して利用してもらいたい。

・柴田竹美 様 : B

いじめを訴える生徒がほぼいなくなったことは、大変素晴らしいことです。また、指導に対して生徒たちが素直に改善できるようになってきているのも、先生方の日頃のご指導の賜物と存じます。いじめの受け止め方には個人差がありますので、生徒の小さな変化も見逃さず、今後もこの良好な状態が継続していくことを願っております。

【進路指導部】

・古関秀行 様 : A

進路ガイダンスなどの取り組みやインターンシップを含む外部機関との連携により進路意識を高め、アピールポイント作りなどの目標実現に必要な対策能力の育成にも取り組んでおり感心しました。進学希望者も含め

て、夢を持って、諦めずにそれを実現する道を考え取り組ませる指導を今後もお願いしたいと思いました。

・畑忠 様

個々に生徒目標の設定から実現に向けた活動に敬意を表します。

・小松谷昇 様 : B

進路希望が未定の生徒が多いということですが、卒業生の体験談は大変参考になると思いますので機会を積極的に設けていただきたい。

・柴田竹美 様 : B

高校での進路決定は、生徒の人生における大きなターニングポイントです。引き続き、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな進路指導を期待いたします。また、総合型選抜での合格者増は大変喜ばしく、定時制高校の生徒の強みを活かせる有効な入試方式だと考えますので、今後さらに活用され、合格者が増えることを願っております。

【特別活動部】

・古関秀行 様 : A

かまくら行事で訪問した際「学校が楽しい」と話してくれた生徒の明るさが印象的でした。星河祭も各クラスの展示などが個性的で、生徒の声を取り入れた活動、保護者や地域と交流できる機会の設定等々の取り組みの成果だと思いました。今後も生徒に試行錯誤の機会を多く与え、温かく見守って頂ければと思います。

・畑忠 様

今年度から入学式、避難所開設訓練行事が復活して生徒もやりがいを感じているようで好評でした。今後も校内行事に当たって、地域住民とのコミュニケーションを深めていただきたい。

・小松谷昇 様 : A

活動の内容から当初の目標は概ね達成できたと思われます。

・柴田竹美 様 : B

部活動や星河祭などでの生徒たちの活躍は、保護者にも十分に伝わっております。一部の生徒だけでなく、より多くの生徒が少しでも何らかの役割を担い、参加できる工夫があると望ましいです。その経験が、

生徒自身の今後の糧になると信じております。

【保健部】

・古関秀行 様 : A

アンケートや面談等を重ねて、生徒に自己の生活習慣や現状を見つめさせて自己管理能力を育てようとし、通級担当教員による関係作りの指導等により他者に対する適切な対応ができる能力を育てようとして取り組まれている。どの能力も社会生活において大切な能力であり継続して育てていただければと思います。

・畑忠 様

生徒の今後の人生で生活習慣の把握は大切です。生徒指導部と連携しながら、ことば使い、整容に加えて整体に配慮するために正しい姿勢（頭・顔・首・胸・背中の位置）を身に付けるよう指導も必要ではないでしょうか。スマホから眼を離さない生徒には将来が心配です。

・小松谷昇 様 : A

感染症に対する対策や他人に対するマナー等はコロナ禍以降定着しているものと思います。引き続き徹底した感染症対策をお願いしたい。

・柴田竹美 様 : B

健康状態や生活習慣の自己管理は大人でも難しいものですが、高校生のうちにその重要性を自覚することが大切です。引き続き、生徒それぞれの実態に応じた丁寧なご指導をお願いいたします。

【研修部】

・古関秀行 様 : A

多様な生徒の実態に即した学習指導の在り方に加えて「深い学びを実現する、対話等の言語活動の推進」のため授業研究を実施したとのこと。対話的で深い学びにより身に着いた諸能力をどう適切に評価するかが課題です。いわゆるペーパーテストの結果中心では、深い学びを促す指導そのものが否定されます。

・畑忠 様

様々な講習会、研修会の企画、実施など一般の普通高校とは違った苦悩を感じます。

- ・小松谷昇 様 : B

研修会や研究授業等の参加や実施がよく行われていると思うが、生徒にどのように反映されているのか、また生徒の課題解決につながっているのか検討の余地があると思う。

- ・柴田竹美 様 : B

先生方の研修内容については存じ上げない部分もございますが、DX等を有効活用し、先生方の負担増とならない効率的な研修体制が構築されることを望みます。

【図書視聴覚部】

- ・古関秀行 様 : A

図書館を身近なものとするため「図書だより」の発行やPOP作成と星河祭での展示などを工夫し、さらに他校との交流も行うなどしたとのこと。思いのこもったPOPの展示に感心しました。ビブリオバトルなども含めて、臆せず参加挑戦することを通して、生徒の成長を促していただければと思います。

- ・畑忠 様

今後も「青雲館だより」を継続して地域住民へ発報願います。

- ・小松谷昇 様 : B

進路指導につながるような専門書の充実をお願いしたい。

- ・柴田竹美 様 : B

図書館の利用頻度には個人差があると感じます。スマートフォンで手軽に情報検索できる現代において、図書館の必要性が薄れがちになっているのかもしれませんが、本に触れ、読書をすることの有用性を引き続き生徒たちに伝えていただきたいと思います。

【イオ運営部】

- ・古関秀行 様 : A

職員減の中、昨年同様、多様な課題を抱える生徒たちを受け入れ、安心して相談できる体制構築によく取り組んでいると思います。集団適応支援の効果は理解しているつもりですが、まずはSSTやグループエンカウ

ンター等により、通所する生徒ひとり一人の安心と心の充足に努めていただければと思います。

・畑忠 様

特段の意見はございません。

・小松谷昇 様 : A

地域に無くてはならない存在として定着してきたと思う。良い評判もいろいろと聞こえてきております。

・柴田竹美 様 : B

特段の意見はございません。

【1年次部】

・古関秀行 様 : A

学校行事や委員会活動、クラス活動等への参加を促し、自らについての自信を深めると共にお互いを尊重し
思いやる心も育ってきているとのこと。教師側の理解と個に応じた指導の成果だと思えます。課題としている
「自己表現する場面」の設定はさらなる成長をもたらす機会になると思い、期待しています。

・畑忠 様

何事にも積極的に取り組む姿勢が大切です。2年部にこの心意気を忘れずに取り組んでいただきたい。

・小松谷昇 様 : A

各学年部全体的に共通して、さまざまな問題や悩みを抱えている生徒が多いようですが、生徒一人一人の状
況を把握して指導していただいていることについては先生方への感謝しかありません。今後も継続して丁寧な
ご指導をお願いします。

・柴田竹美 様 : B

多様な背景や思いを持つ生徒が入学してくるため、対応にご苦労も多いかと推察いたします。まずは生
徒たちが、学校生活に前向きな意欲を持てるようなサポートをお願いいたします。

【2年次部】

・古関秀行 様 : A

課題を抱える生徒が多い中で、インターンシップを活用するなどして企業等との連携を図り進路実現をよく支援し、また、各種行事の際に、協業や自主企画等の活躍の機会を与え自己有用感を高めています。『手帳』を活用した記録の蓄積は、後の振り返りによって成長を促す糧となるので継続を期待します。

・畑忠 様

進路意識向上策の一環としての『手帳』を活用している、とのことですがそうしたマニュアルは貴重なツールだと思います。

・小松谷昇 様 : B

各学年部全体的に共通して、さまざまな問題や悩みを抱えている生徒が多いようですが、生徒一人一人の状況を把握して指導していただいていることについては先生方への感謝しかありません。今後も継続して丁寧なご指導をお願いします。

・柴田竹美 様 : B

修学旅行やインターンシップなど行事が目白押しで多忙な学年ですが、同時に自身の進路に対する意識付けも非常に重要な時期であると考えます。行事を通じた成長と、進路への自覚を促すご指導を期待しております。

【3年次部】

・古関秀行 様 : A

3修と4修を分けてクラス編成し進路意識を明確化させ、個別面談や家庭との連絡を密にすることで意欲を高め、生活習慣の改善や人間関係の安定を図り、ほとんどの生徒に合格・内定を得させており、素晴らしいと思います。挑戦する気持ちや思いやりは今後も大切になるので、卒業まで指導をお願いします。

・畑忠 様

3年次、4年次の区分けの見直しは正しいと思います。

・小松谷昇 様 : A

各学年部全体的に共通して、さまざまな問題や悩みを抱えている生徒が多いようですが、生徒一人一人の状況を把握して指導していただいていることについては先生方への感謝しかありません。今後も継続して丁寧な

ご指導をお願いします。

・柴田竹美 様 : B

今年度、3修生と4修生をクラス分けしたことが良い成果に結びついたとのことで、大変嬉しく思います。年ごとの生徒数の比率により毎年同じようにはいかないかもしれませんが、今後の良いモデルケースになったのではないのでしょうか。

【4年次部】

・古関秀行 様 : A

面談や地域活動セミナー・職場訪問等を活用し、生徒の意欲を喚起し進路達成をよく支援したと思います。公務員就職や進学にも挑み、添削や補習、小論や面接指導等努力されたようですが、どのような協力体制や取り組みがあれば達成できるのか、諦めず新たな課題として取り組んでいただければと思います。

・畑忠 様

これからも温かく優しい目で生徒を指導していただきたくよう お願いします。

・小松谷昇 様 : A

各学年部全体的に共通して、さまざまな問題や悩みを抱えている生徒が多いようですが、生徒一人一人の状況を把握して指導していただいていることについては先生方への感謝しかありません。今後も継続して丁寧なご指導をお願いします。

・柴田竹美 様 : B

進路に向けた面接や小論文、模試等への手厚いご対応、本当にありがとうございました。順調に進路が決定し卒業を迎える生徒がいる一方で、進路未定のまま卒業する生徒の状況がどのようになっているのか、少し気にかかっています。